

中海研究連携強化のための勉強会について

提案背景

令和6年度第2回自然再生専門家会議（2024/11/22）の指摘事項

中村委員からの指摘で、「それぞれの事業の新しい試みについては、きちんとデータを取られて進められており、問題点はないように思います。協議会の中で国や県との協働関係が上手くいっていないと、現地視察で少し話題になりましたが、視察のあと、行政とタイアップする仕組みについて、何か進展はありましたか。」

試行的な勉強会の実施

タイトル：第1回中海研究連携強化のための勉強会

日時：2025年1月11日 11:00-13:45

参加者（敬称略）：

再生センター：國井、島根大学：桑原・矢島、島根県：清山・崎、国交省：山形・河村・廣野
内容：

1. 事業・活動報告

国・島根県：中海に関する事業・調査内容の説明。自然再生センター：これまでの活動報告。島根大学：これまでの中海研究の報告（特に窪地覆砂）。

2. 自然再生協議会での活動展望

勉強会を継続して開催する意義が認識され、協議会の一活動として開催するのが良いであろうとの意見があった。

協議会の全体会議でも各団体の活動報告を行うことは良いことであろうとの共通認識が得られ、今後の運営における検討課題と認識された。ただし、勉強会の場合、ある程度専門性の高い人たちで集まらないと話が発散する恐れがあるとの指摘もあった。

中海に関する情報交換および勉強会の提案

1. 中海自然再生協議会における中海に関する情報交換

- ・協議会において、年1回の関係機関の年度活動の情報交換。鳥取県狐川を参考。
- ・中海会議（8月～11月）終了後の協議会において、中海会議の報告（上記と同時？）

2. 専門家勉強会（年1回程度）

専門性がある行政・研究者の勉強会（事後に協議会で報告）

以上